

沖縄工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	琉球諸語入門	
科目基礎情報							
科目番号	6029			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	情報工学コース			対象学年	専1		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	8週目に「はじめての象棋―沖縄の伝統将棋―」（東洋企画）を使用。その他、プリントで補充する。						
担当教員	崎原 正志						
到達目標							
①Swadeshの基礎語彙100語をしまくとうばで発音でき、その意味が言える。②しまくとうばで簡単な自己紹介（8～10文）が口頭でできる。③しまくとうばの音を文字（ひらがな・カタカナ・漢字）で表記することができる。④しまくとうばの名詞述語・動詞述語・形容詞述語文について理解し、作文し、口頭で発音できる。⑤しまくとうばで歌が歌える（1曲）。							
ルーブリック							
		達成度目標の評価方法	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	最低限必要な到達レベル（可）		
Swadeshの基礎語彙100語をしまくとうばで発音でき、その意味が言える。		全10回的小テスト（単語テスト）の実施	100語全てをしまくとうばで発音でき、その意味が言える。	70語以上をしまくとうばで発音でき、その意味が言える。	50語以上をしまくとうばで発音でき、その意味が言える。		
しまくとうばで簡単な自己紹介（8～10文）が口頭でできる。		第7週目の中間課題の提出および第15週目の最終課題口頭発表の実施	授業で習った表現を土台にし、しまくとうばでの自己紹介が10文以上用いて口頭でできる。授業で習った表現以外を用いることができる。	授業で習った表現を土台にし、しまくとうばでの自己紹介が8～10文程度用いて口頭でできる。	授業で習った表現を土台にし、しまくとうばでの自己紹介が5文程度用いて口頭でできる。		
しまくとうばの音を文字（ひらがな・カタカナ・漢字）で表記することができる。		毎授業の最後に提出する課題の提出	しまくとうばの音をひらがな・カタカナ・漢字を交え、分かち書きし表記しつつ、漢字にルビを振ることができる。	しまくとうばの音をひらがなとカタカナを交え、分かち書きしつつ表記できる。	しまくとうばの音をひらがなで表記することができる。		
しまくとうばの名詞述語・動詞述語・形容詞述語文について理解し、作文し、口頭で発音できる。		毎授業の最後に提出する課題の提出および第15週目の最終課題口頭発表の実施	名詞述語・動詞述語・形容詞述語文全てを理解し、作文でき、発音でき、連体形も同様に運用できる。	名詞述語・動詞述語・形容詞述語文全てを理解し、作文でき、発音できる。	名詞述語・動詞述語文・形容詞述語文の違いを理解できる。		
しまくとうばで歌が歌える（1曲）		第15週目の最終課題口頭発表の実施	既存のJ-Popソング1曲をしまくとうばに訳し、それをしまくとうばで歌える。	しまくとうばに訳された既存のJ-Popソング1曲を歌える。	しまくとうばに訳された既存のJ-Popソング1曲の一番（Aメロとサビ）を歌える。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	この授業では、琉球列島で伝統的に話されて来た琉球諸語（しまくとうば、とも言う。場面に応じて、両方を使用）の次に挙げる5点について学習する。						
授業の進め方・方法	①琉球「諸」語の数・種類・使用地域、②琉球諸語がどの程度危機的な状況にあるか、③個々の言語の下位方言の数・種類・使用地域、④伝統集落と屋取集落の違いとそれらの方言の差異、⑤琉球諸語の内、沖縄島で話される沖縄語（うちなーぐち、とも言う。場面に応じて、両方を使用）の語彙を学び、文にし、それらを読んだり、書いたり、話したりすることをアクティビティを通して学ぶ。 なお、授業に毎回参加し、アクティビティに積極的に参加して、課題をその都度提出することが、評価に直接つながるので、きちんと出席することが重要。						
注意点	『琉球語音声データベース』や『沖縄語辞典(1963)』にオンラインでアクセス可能なため、各自のノートPCを持参することが望ましい。また、評価の仕方は原則変更はないが、上記の目標・ルーブリックや授業概要、下記の授業計画は、授業の進行状況によって、内容を変更する場合がある。						
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☒ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	成績評価と授業の進め方について説明を行い、琉球諸語とは何か、本授業で扱う対象と内容について解説する。		語彙40語（Swadesh10語・カレンダー4月30語）を学習する。		
		2週	はじめまして。私は〇〇です。自己紹介、小テスト①40語（Swadesh10語・カレンダー4月30語）		自己紹介表現と語彙40語（Swadesh9語・カレンダー5月31語）を学習する。		
		3週	琉球諸語とは？、元気か？・お元気ですか？（あいさつ）、小テスト②40語（Swadesh9語・カレンダー5月31語）		あいさつ表現と語彙39語（Swadesh9語・カレンダー6月30語）を学習する。		
		4週	国頭語とは？、三母音の法則、どこに行くの？（どこ？の文）、小テスト③39語（Swadesh9語・カレンダー6月30語）		マー（どこ）を使った疑問文と語彙40語（Swadesh9語・カレンダー7月31語）を学習する。		
		5週	その他の音変化の法則と分かち書き、小テスト④40語（Swadesh9語・カレンダー7月31語）		さまざまな音韻変化と分かち書きの学習、およびしまくとうばで手紙を書く。		
		6週	単語の調べ方、毎日、本を読む（動詞述語文）、中間課題（しまくとうばレター）提出		動詞述語文と語彙40語（Swadesh9語・カレンダー8月31語）を学習する。最終課題作成の手順と説明。		
		7週	講義「うちなーぐち以外の琉球諸語と危機的状況について」、小テスト⑤40語（Swadesh9語・カレンダー8月31語）		うちなーぐち以外の琉球諸語と危機的状況について学習する。		
		8週	はじめてのチュンジー（沖縄の伝統将棋）		チュンジーの遊び方と基礎的語彙を学ぶ。		
	2ndQ	9週	早く読め！読みなさい！（命令形の文）、小テスト⑥約39語（Swadesh9語・チュンジー用語約30）		命令形の文と語彙39語（Swadesh9語・カレンダー9月30語）		

	10週	本を読んだ・読んでいる（動詞の過去と継続）、小テスト⑦39語（Swadesh9語・カレンダー 9月30語）	動詞の過去と継続、および語彙40語（Swadesh9語・カレンダー10月31語）を学習する。
	11週	動詞の連体形と形容詞、小テスト⑧40語（Swadesh9語・カレンダー10月31語）	動詞の連体形と形容詞の文、および語彙40語（Swadesh9語・カレンダー 1月31語）を学習する。
	12週	動詞・形容詞・～だの活用（復習）、課題作成、小テスト⑨40語（Swadesh9語・カレンダー 1月31語）	復習、課題作成および語彙37語（Swadesh9語・カレンダー 2月28語）を学習する。
	13週	課題作成、小テスト⑩37語（Swadesh9語・カレンダー 2月28語）	課題作成
	14週	課題口頭発表練習日・予備日	最終課題「J-Popをしまくとうばで」の発表練習
	15週	課題口頭発表	最終課題「J-Popをしまくとうばで」をプレゼンする
	16週	課題提出	最終課題「J-Popをしまくとうばで」を仕上げて、提出

評価割合

	小テスト(語彙・全10回)	ワークシート(毎授業ごと)	中間課題	最終課題(プレゼン)	最終課題(提出)	合計
総合評価割合	30	20	10	10	30	100
基礎的能力	25	20	10	5	10	70
専門的能力	0	0	0	0	10	10
分野横断的能力	5	0	0	5	10	20